

学校法人名城大学申請の概要

1 専攻科の管理に対する意欲

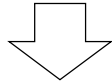
- ① 指定管理法人（第 1 期及び第 2 期）の経験により蓄積された公設民営による学校運営のノウハウを活用
- ② 法人の持つ強み（人材・教育手法・多数の卒業生・企業連携など）を専攻科において還元
- ③ デジタル変革に対応する情報技術等の最先端の専門的知見を専攻科の教育に展開

2 教育重点目標

- ① 民間知見を有した人材から直接指導を受けることができる教育環境を整備
- ② 企業や大学等と連携し、最先端の技術や学問分野に触れる機会を設定
- ③ ものづくりの匠の知・技・心を継承するリーダーの育成

3 雇用等規程の整備

公設公営では困難であった多様な雇用形態と柔軟な給与の設定により、専攻科に有為な民間人材の登用を図る。



雇用

ものづくりの現場等で活躍する企業経験者や高度な技術・技能を持った人材を教育職員として積極的に登用するため、民間企業に所属しながら専攻科の教育活動を支援する出向制度など、柔軟かつ多様な雇用形態を設定

給与

年俸制度など雇用形態に見合った給与制度を設定

4 民間知見の活用事業

校外学習

- ・ 支援企業を増やし、幅広い業界から多くの知見を得る機会を創出
- ・ 卒業生関係企業からの教育活動支援
- ・ 大学施設での実習

次世代のものづくり等に対応した講義・実習

- ・ ものづくり現場での IT 化に精通している企業の技術者を招へいして実施
- ・ 理工系・人文社会系を専攻する大学教員等からの講義
- ・ 技能五輪メダリスト等からの直接指導

資格取得

- ・ 機械・電気・電子・情報系の資格取得について特別対策講座の開催
- ・ 難易度の高い資格を取得した生徒への表彰制度

各種大会出場

- ・ ロボットコンテストやエコモビリティ・航空宇宙に関連した競技会への出場に際し、民間企業との連携や技術者から直接指導を受ける機会を設定
- ・ ものづくり競技大会での上位入賞や技能五輪への出場を目指し、技能五輪メダリストや現代の名工から直接指導を受ける機会を設定

5 大学編入への対応

大学編入に対応した専攻科教育課程の実施